

ア ヒ ル

Anas platyrhynchos var. domesticus



分類	ガンカモ目 ガンカモ科													
特徴	オスでは緑色の頭と黄色いくちばしが目立つ淡水ガモ類。北半球の温帯から亜寒帯で広く繁殖する種で、日本には主に冬鳥として多数が渡来し、各地で越冬する。本州の山地や北海道では繁殖するものもある。家鴨としてよく飼育されるアヒルの原種である。アヒルはしばしば野生状態で生活しており、そうした個体は繁殖するものもある。野生のマガモと区別できない。狩猟鳥。													
生活	越冬地では湖、沼、大きな川、内湾の海上など開けた水面に群れていることが多く、時には数百羽の群れをなす。狩猟鳥となっているため、昼間は安全な水面で休んでいることが多く。夜間に湿地、水田、湖沼の岸などで餌をとる。繁殖期には、本州では山地、北海道では平地から山地の湖や沼で生活し、草むらの中に枯れ草で皿形の巣を作る。													
声	カモ類の中では、もっとも良く鳴く鳥である。オスは「グァークワックワツ」と尻下がりの大声で鳴くほか「クワックワツ」と小声で鳴いている。メスも「クワックワツ」という低い声である。水面から飛び立つ時には「グェーグェー」と鳴くことが多い。													
見分け方	オスは色彩で見誤ることはない。メスはくちばしの周辺が橙色で尾は白っぽい。													
時期	(月)	1	2	3	4	-	-	-	-	9	10	11	12	
その他	全長(L) ♂ 61cm ♀ 53 cm 翼開長(W) 85～99cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														